



石井病院


じんけいクリニック

Now Vol.142

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2020.1

 新年のご挨拶 理事長・院長 石井 洋光

令和初の新年を迎えました。年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

さて、今年は待ちに待った「2020年東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。日本は勿論、世界中が興奮と感動に包まれることでしょう！世界の第一線で活躍している選手たちの熱い戦いが繰り広げられるのを楽しみにしています。

よくスポーツには「心・技・体」が必要だと言われています。ハガネの精神、磨き抜かれた技、鍛え上げられた身体、そのどれもが欠かすことのできない重要な要素であると考えます。

さて、私ども医療・介護の現場においては「心・技・体」ではなく、「体・技・心」の順だと考えます。まず「体」は自己管理能力で表されるのではないのでしょうか。例えば、自身の体調不良や気分の浮き沈みによって患者さまや利用者さまへの態度や口調が変わったりすることで相手を不安にさせてしまうかもしれません。また、時間管理ができずに患者さまやスタッフに迷惑をかけてしまうかもしれません。「体」ができていない人は、ただ単に体調管理をして決められた時間を守るだけでなく、その時間の中でどれだけ効率よく動けるか、そのためにはどうすべきかを常に考えている人だと思います。これはまさしく「働き方改革」に通じるものがあります。次に「技」は知識やスキル、経験であり、一人一人が医療・介護の担い手としての責任を自覚し、医療・介護の進歩と共に生涯自己研鑽を積まなければなりません。

「体」や「技」が充実したうえでの「心」となります。私どもの理念の一文「仁＝思いやり」で表されるように、他人を思いやる、いつくしむ気持ちが大切です。まずは患者さま、利用者さまの訴えに対して真摯に向き合うことにつきますと思います。そして、つちかした「体」と「技」と「心」がバランスよく三位一体となり、スタッフは勿論のこと、患者さま、利用者さまとの信頼関係を築くことで、安全・安心、信頼される医療・介護を提供できると信じ、より一層精進して参ります。

今年の干支「子」は十二支の始まりです。「子」はまた種が芽吹く時期と言われています。

さまざまな事が新しく始まる時、必要なのはしっかりとした土台を築く人材です。そこで昨年度から新たな昇進制度を取り入れ、人材の育成・活用に取り組んで参りました。基礎をしっかりと固め、その上に知識やスキルを積み上げ、コミュニケーション能力を高めて連携を図り、新たな局面にも臨機応変に対応できるようなリーダーの育成が今年の目標でもあります。

これからもスタッフ一同一致団結して、地域の皆さまと共に成長し、貢献して参る所存です。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

理事長・院長
いしい ひろみつ
石井 洋光

仁恵会の理念

わたしたちは、「仁＝思いやり」をモットーに安全・安心、信頼される医療・介護を提供し、地域に貢献します。

 石井病院 診療体制変更のお知らせ

令和元年12月23日より、泉 医師 退職に伴い診療体制を下記の通り変更いたしました。患者さまにおかれましては、ご理解とご了承のほどよろしくお願いいたします。

尚、詳細につきましては、外来受付に設置しております「**外来診療担当医表**」にてご確認ください。

【午前診】 火曜日 1診 泉 冬樹 医師 → 中村 光宏 医師 (外科・消化器外科)
木曜日 7診 中村 光宏 医師 → 診察枠が無くなりました

【午後診】 月曜日 3診 泉 冬樹 医師 → 梶浦 孝之 医師 (内科・循環器内科)
火曜日 2診 梶浦 孝之 医師 → 福井 章太 医師 (内科・消化器内科)
水曜日 2診 福井 章太 医師 → 梶浦 孝之 医師 (内科・循環器内科) 17:00 ~



じんけいクリニック 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
また昨年中、当じんけいクリニックに賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、
職員一同心より御礼申し上げます。

医学医療は今こうしている間も世界中でものすごい勢いで進化し発展し続けておりますが、しかしそれでもじんけいクリニックにおいては、全職員、本年も目指すところは不変、普通の当たり前医療を遂行し続けること、ただそれのみであります。

本年も患者さまや地域住民、近隣の諸先生方からのさらなるご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。



じんけいクリニック

院長

ふくし よしひこ
福士 剛彦

明けましておめでとうございます。

今年「子」の年、十二支の1番目に来ているので。「新しい物事や運気のサイクルの始まる年」と言われています。

当グループのじんけいクリニックは、昨年春より大改装に着手し、今春完成の予定です。透析患者様に少しでも快適な透析ライフを過ごしていただこうと思っています。

今年も職員一同、ワンチームとして医療の質の向上・患者様サービスに徹する所存ですので、よろしく願い致します。



仁恵会 顧問

ひるた たけし
蛭田 武

じんけいクリニック 実施サービスのご案内



・無料「駐車場」及び無料「送迎」を実施しています。

当クリニックでは、駅前クリニックにも関わらず、無料で駐車場を利用していただけます。更に送迎では、きめ細かい調整の元、専任のドライバー9名が、患者様のご要望、体調、歩行状態、ご自宅周辺の環境、道路状況等を総合的に判断し調整を行っています。現在、車椅子のまま乗車可能リフト車5台、小型車椅子車1台にて運行しています。なお、ご自宅の玄関（集合住宅の場合は集合住宅入口）から当院のベッドまでスタッフの介助にて移動させていただきます。

・「フットケア」「水質管理」をスタッフが責任を持ち実施しています。

当クリニックでは、糖尿病重症化予防（フットケア）講習修了者の看護師が主となり「フットケア」を実施しております。当院患者様の足のケアは、責任を持ち対応しております。そして、透析で大変重要である、「水質管理」を当院透析液安全管理者セミナー受講者の臨床工学技士の指導の下、患者様へウルトラピュアな透析液を送り、安全で安心してもらえる透析を目指し、スタッフ一同全力で患者様を支えています。

・「INBODY」「SPP」「上腕動脈エコー」などの検査が充実しております。

当クリニックでは、筋肉量、体脂肪量、体水分量を寝ながら測定出来る装置「INBODY S-10」を扱っております。ドライウエイトの決定の一助にもなっており、患者様の体重変化や、運動量なども総合に判断し透析治療に活用しております。他に足の皮膚近くの血流を調べる事でフットケアに活かすことが出来る検査「SPP」を行ったり、患者様の大切なシャントを守る為、「上腕動脈エコー」を測定し穿刺困難になる前に血管拡張を行える指標にもなっております。これからも多種の検査を必要なタイミングで行い、患者様の負担にならないよう注意しながら、患者様を守ってくれる検査を実施していきます。

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>